

2017 年度

町田市 市民協働による生きもの調査
ツバメの巣探し調査の手引き



町田市

環境資源部 環境・自然共生課

はじめに

初夏を迎え、葉の緑が一層深くなる季節になりました。

この頃、空を飛ぶツバメの姿を目にすることも増えてきたのではないのでしょうか。ツバメたちは、冬をフィリピンやマレーシアで過ごしたあと、春を迎えて暖かくなった日本に、子育てをするために飛んで来ています。

ツバメの巣の主な材料は、泥と枯草です。また、ヒナにエサとして与えるために捕まえる虫の数は、1日数千匹近いといわれています。ツバメが巣を作り、子育てをするためには、ある程度の自然環境が必要です。

また、ツバメが他の野鳥と特に違うところは、人家の軒先など人が出入りする場所に巣作りをすることです。これは、カラスやヘビなどの天敵からヒナを守るために、人間を利用していると考えられています。

しかし、近年の都市化によって、ツバメの巣は減少傾向にあるといわれています。アスファルトで固められた都市環境では、巣材として使えるような泥の確保が難しく、虫の数も十分ではない場合が多いのです。

都市部では全国的に減少傾向にあるといわれるツバメの巣ですが、町田市域においては、どのような状況にあるのでしょうか。町田市のツバメの巣作りと、その中で行われる子育ての様子を、調べてみましょう。

1. ツバメの巣探し調査について

1. 調査目的

町田市域におけるツバメの巣の分布と、子育て状況について把握することを目的とします。

2. 調査期間

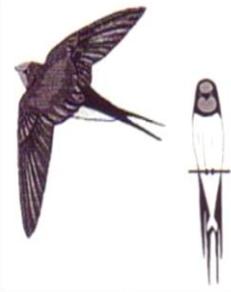
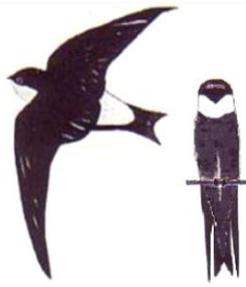
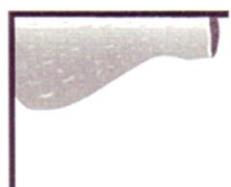
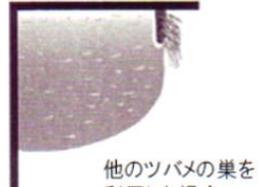
5月22日（月）～6月15日（木）

3. 調査範囲

町田市内のうち、送付された地図の範囲内

4. 調査概要

- 担当調査地のツバメの巣の有無とツバメの種類を確認する調査です。
- 調査対象となるツバメは、「ツバメ」「コシアカツバメ」「イワツバメ」「ヒメアマツバメ」の4種類です。それぞれの外見や巣の特徴などは、次ページを参考にしてください。
- 5月16日ごろにお送りする地図が、担当調査地になります。調査のスケジュール・方法等について、詳しくは6ページを参照してください。
- 調査の際は、「ツバメの巣探し調査員証」を必ず携帯してください。
- 結果については、後日お知らせいたします。

種名	調査対象種			
				
	ツバメ(ツバメ科)	コシアカツバメ(ツバメ科)	イワツバメ(ツバメ科)	ヒメアマツバメ(アマツバメ科)
種の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・もっともよく見かける種 ・ノドとおでこが赤く、尾が長い ・おなかが白い 	<ul style="list-style-type: none"> ・腰と目の後ろ部分が赤茶色で尾が長い ・ツバメよりもやや大きく、ゆったりとぶ ・おなかと胸にあわい縦斑がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・腰の部分が白く、尾が短い (ヒメアマツバメとの区別の方法) ・お腹が白い ・羽が短い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノドと腰の部分が白く、尾が短い (イワツバメとの区別の方法) ・お腹が黒い ・羽が長い
巣の形				
巣の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・商店や住宅の軒下、歩道橋、駅などの人工構造物に作る。 ・1つの建物に1～数個 ・材料は泥と枯草 ・昨年の巣を補修して使う場合がある ・お椀型 	<ul style="list-style-type: none"> ・人工構造物に作る。 ・木造の建物よりもモルタルやコンクリートの大きな建物を好む傾向がある。 ・材料は泥と枯草 ・とっくり型 	<ul style="list-style-type: none"> ・本来は岩壁に作るが、最近では山小屋、橋、都会のビルなどの建造物にも集団で作っている。 ・材料は泥と枯草 ・お椀型 (ツバメと比較して出入り口が狭い) 	<ul style="list-style-type: none"> ・イワツバメやコシアカツバメの巣を奪ったり、古巣を利用することが多い。 ・自分でお椀型や筒状の巣をつくることがある。 ・出入り口に枯草や羽毛をつける。
鳴き声	<ul style="list-style-type: none"> ・チチュロリ、チュリチュリ、ジュリリ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョイジョイ、チュリチュリイ、ジョイジョイ (太く濁った声) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュリジュリ、ビィビィ、ジュリジュリ (早口で濁った声) 	<ul style="list-style-type: none"> ・チーチー(とまっているとき) ・チュリリリ、チュリリリ

出典：「H26年度 相模原市環境情報センター H26年度 相模原市自然環境観察員制度年次報告書」,相模原市立環境情報センター,2015,p110

ツバメ図鑑

●ツバメ（ツバメ科）

- ・ 巣の外観・・・民家や商店街、駅など、人の出入りの多い場所の軒下につくる。お椀のような形。天井にはくっついていない。
- ・ 成鳥の外観・・・頭から背中にかけて光沢のある紺色。羽根には青色や緑色の光沢がある。額とノドの赤色が目立つ。尾の先ははっきりと二つに分かれている。



撮影：橋本康平

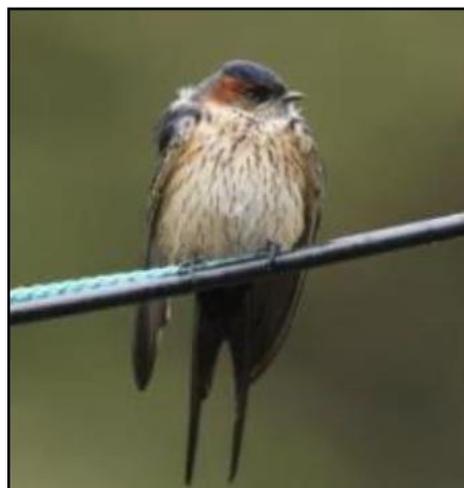


●コシアカツバメ（ツバメ科）

- ・ 巣の外観・・・民家やビル・マンションに巣を作ることが多い。壺を縦に半分にして、壁と天井につけたような形。
- ・ 成長の外観・・・頭からの上面は黒く、頭の上部和背中、肩羽には紺色の光沢がある。目の後方から首の後ろは赤茶色。喉から体下面は薄い茶を帯びた白色で、黒褐色の縦斑があり下から見るとやや濁った色に見える。尾羽は深く切り込んだ燕尾で、先は細長い。ツバメよりやや大きく見える。



撮影：自然観察活動チーム Wild Lives Watchers 井上 太志



撮影：橋本康平

●イワツバメ（ツバメ科）

- ・ 巣の外観・・・ ビルや橋の下に集団でつくる。壁と天井にくっついて、出入口の穴が一か所空いている。コシアカツバメの巣と似ているが、出入り口は細長くない。
- ・ 成長の外観・・・ 尾羽が短く、全体的にずんぐりして見える。頭からの上面は黒く、光沢はあまりない。頭の付け根前側、頬から体下面はきれいな白色。くちばしは黒い。足には指の先まで白い羽毛が生えている。尾羽はわずかに切り込んでいる程度。



撮影：自然観察活動チーム Wild Lives Watchers 井上 太志



撮影：自然観察活動チーム Wild Lives Watchers 井上 太志

●ヒメアマツバメ（アマツバメ科）

- ・ 巣の外観・・・ 主にイワツバメの巣を奪い取る、又は古巣を利用することが多く、入口に羽毛を付けるのが特徴で、親鳥がいなくても識別できる。
- ・ 成長の外観・・・ 喉と腰だけが白っぽい。全体に黒みの強い黒褐色だが、頭は少し淡い。喉は、くすんだ白色で、鎌形の細長い翼をしている。



撮影：藤井 幹



撮影：藤井 幹

出典：「H26年度 相模原市環境情報センター H26年度 相模原市自然環境観察員制度年次報告書」
相模原市立環境情報センター, 2015, p111~112

2. 調査方法について

5月16日（火）以降、調査員証と地図が郵送されます。

5月22日（月）から6月15日（木）までの期間、地図の範囲内でツバメの巣を探してください。

（トラブル防止のため、必ず調査員証を携帯してください。）

ツバメの巣を確認したら、1つの巣につき1枚、調査票を記入し、地図上の発見地点に×印と調査票No. を記入してください。

6月30日（金）までに、同封の返信用封筒にて、調査票・地図・アンケートをご返送ください。（6月15日（木）より前に送っていただいてもかまいません）

調査結果については、後ほどお知らせいたします。

お送りする地図はかなり範囲が広いですが、家の周りや学校への通学路、お買い物の通り道など、無理のない範囲で、調査をお願いします。また、「ツバメの巣がない」という結果も、大切なデータですので、巣が見つかるまで探し回る必要もありません。

3. 調査票の記入方法について

調査票記入例

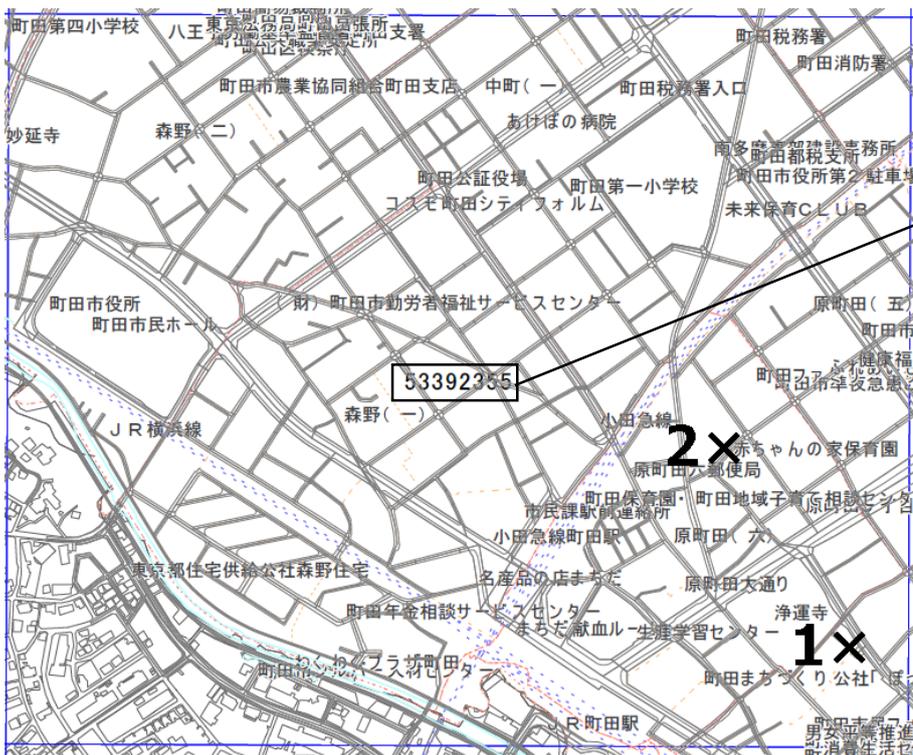
メッシュ番号 〇〇〇〇 調査者 **町田 花子**

※ 当てはまる番号に丸をつけてください。

No.	① 日付	② ツバメの種類	③ 建物の種類	④ 子育て状況（複数選択可）	⑤ 人間による補助	⑥ 備考
1	5月25日	<input checked="" type="radio"/> 1. ツバメ <input type="radio"/> 2. コシアカツバメ <input type="radio"/> 3. イワツバメ <input type="radio"/> 4. ヒメアマツバメ <input type="radio"/> 5. 不明	<input checked="" type="radio"/> 1. 一軒家 <input type="radio"/> 2. 学校 <input type="radio"/> 3. 商店 <input type="radio"/> 4. マンション・ビル <input type="radio"/> 5. 橋・歩道橋 <input type="radio"/> 6. その他（ ）	<input checked="" type="radio"/> 1. 幼鳥が見える <input checked="" type="radio"/> 2. 親鳥が出入りしている <input type="radio"/> 3. 使われていない古巣 <input type="radio"/> 4. 利用状況がわからない	<input checked="" type="radio"/> 1. 巣の支え <input type="radio"/> 2. ふん落下防止 <input type="radio"/> 3. 補助なし <input type="radio"/> 4. その他	ヒナたちが、親鳥に餌をねだっていた。

- ① ツバメの巣を確認した日付を記入してください。
- ② 確認したツバメの種類に○をつけてください。（わからない場合は「5. 不明」を選択）
- ③ ツバメの巣を確認した建物の種類に○をつけてください。該当がない場合は「6. その他」を選択し、（ ）欄に建物の種類を記入してください。
- ④ 確認したツバメの巣の子育て状況に○をつけてください。（複数選択可）
- ⑤ 確認したツバメの巣に、板やバケツなど、人間による補助の有無があるかどうかを確認し、当てはまるものに○をつけてください。（複数選択可）
- ⑥ その他、気づいたことがあったら、備考欄にご記入ください。
- ⑦ ひとつも巣が見つからない場合は、調査結果記入用地図に「ツバメの巣なし」とご記入いただき、調査結果記入用地図のみ、ご返送ください。（調査票の提出は必要ありません）

4. 「調査結果 記入用地図」の記入方法について



こちらは町田市内の標準地域メッシュ番号※ですが、集計の際に使用するだけなので、調査の際には気にしていただく必要はありません。巢の場所が重なる場合は、上から記入していただくかまいません。

※… 国勢調査などの統計をとるために国が定めた、1km四方のメッシュ

ツバメの巣を確認した地点に、×印と調査票のNo. を記入してください。

正確な場所が不明な場合は、大体の場所がかまいません。

ひとつも巣が見つからない場合は、調査結果記入用地図に「ツバメの巣なし」とご記入いただき、調査結果記入用地図のみ、ご返送ください

5. 調査票の提出について

調査が終了したら、「調査票」（巣が見つからなかった場合は不要）、「地図」、「アンケート」の3つを返信用封筒に入れて、6/30（金）までに町田市役所環境・自然共生課までお送りください。

※ツバメの巣を確認できなかった場合でも、必ずご提出ください。

※提出した調査票の返却はいたしません。必要があればご自身でお控えをおとり下さい。

野外調査にあたって注意していただきたいこと

- ※ 調査は、可能な範囲で構いません。危険を冒す調査や、無理はしないでください。
- ※ 帽子の着用、水分補給など、熱中症対策を行ってください。
- ※ 調査する際は必ず「ツバメの巣探し調査員証」を携帯してください。
- ※ 道路に面した調査場所では、交通事故に十分注意してください。

6. こんな場合には？

Q. ツバメの巣、または親鳥を確認したが、種類がわからない。

A. 調査票の選択欄の中から「不明」に○をつけ、可能であれば写真を送ってください。

送付先アドレス：mcity2940@city.machida.tokyo.jp

※ メールの中に、お名前と調査票のNo. を入れてください。

Q. ツバメの巣が見つからない。

A. 巣を確認できなくても、調査票と地図（「ツバメの巣なし」とご記入ください）を必ず提出してください。「巣の確認なし」という結果も、大切なデータです。また、巣を見つけるまで調査担当地内をくまなく探す必要はありません。

Q. 調査票が足りなくなった。

A. 町田市 of ツバメの巣探し調査ページからダウンロードできます。自宅にインターネットを利用できる環境がない場合は環境・自然共生課（042）724-4391まで、お電話でご連絡ください。また、電話連絡をいただければ、追加分の返信用切手をお送りします。

Q. 自分の担当地以外の場所も調査したい。

A. 町田市役所環境・自然共生課までご連絡ください。

Q. 調査ができなくなった。

A. お早目に町田市役所環境・自然共生課までご連絡ください。

調査方法や手引きの内容でご不明な点があれば、お気軽にご連絡ください。

連絡先

〒194-8520

町田市森野2-2-22

町田市役所 環境・自然共生課

TEL：（042）724-4391

担当：黒田、浅野

2017年度
町田市 市民協働による生きもの調査
ツバメの巣探し調査の手引き

〒194-8520 町田市森野2-2-22
町田市役所 環境資源部 環境・自然共生課
TEL：(042) 724-4391
FAX：(050) 3160-5220

